

# 18<sup>th</sup> WORLD KENDO CHAMPIONSHIPS

## International Kendo Federation

2F, Yasukuni Kudan Minami Bldg.  
2-3-14 Kudan Minami, Chiyoda-ku  
Tokyo, Japan 102-0074  
tel: +81-3-3234-6271  
fax: +81-3-3234-6007  
email: kendo-fik@kendo.or.jp



## Comité National de Kendo FFJDA

21-25 avenue de la Porte de Châtillon  
75680 Paris Cedex 14, France  
tel: 33-140-52-1681  
fax: 33-140-52-1680  
email: kendo@ffjudo.com

## 第 18 回世界剣道選手権大会 (18WKC) 要項

- 主 催 : 国際剣道連盟 (FIK)  
主 管 : フランス剣道連盟 (CNKDR)  
後 援 : フランス柔道連盟、全日本剣道連盟 (AJKF)
- 開催地・大会会場 : グランドーム  
ヴィルボン-シュル-イヴェット、フランス
- 行事日程 : 2021年5月25日(火) ~ 5月30日(日)  
(1) 大会期日 : 2021年5月27日(木) ~ 5月30日(日)  
(2) 行 事

月日	行 事 (日中)	(夜)
5月25日(火)	審判講習会(審判会議) 地域連盟(EKF/LAKC)総会	
5月26日(水)	FIK 理事会/総会/監督会議	会長招宴
5月27日(木)	開会式 女子個人戦(予選リーグ、決勝トーナメント)	合同稽古
5月28日(金)	男子個人戦(予選リーグ、決勝トーナメント)	合同稽古
5月29日(土)	女子団体戦、男子団体戦(予選リーグ)	合同稽古
5月30日(日)	女子団体戦、男子団体戦(決勝トーナメント) 閉会式	サヨナラパーティ

- 試合規則  
試合は全て国際剣道連盟試合・審判規則(2017年9月2日改訂版。その後の改訂がある場合はそれも含む。)、本要項規定事項、および理事会により決定された18WKC大会申し合せ事項により行う。

## 5. 競技カテゴリー

18WKC で行われる競技は以下の通りである。

- ・ 女子個人戦：各参加団体から最大 4 名
- ・ 男子個人戦：各参加団体から最大 4 名
- ・ 女子団体戦：各参加団体の団体戦登録選手 7 名から構成される女子 5 名のチームで対戦する
- ・ 男子団体戦：各参加団体の団体戦登録選手 7 名から構成される男子 5 名のチームで対戦する

## 6. 参加資格

### (1) 参加国（参加団体）

本大会に参加できるのは、FIK 加盟国（加盟団体）のみとする。但し本大会前年の FIK 理事会において、FIK 加盟が承認された国（未加盟団体）は、本大会に参加することができる。

### (2) 参加選手

本大会試合に参加する選手は、次の資格を有しなければならない。

- a. 参加国（参加団体）の正式登録会員であること。
- b. 最終エントリーの時点で、代表する国の国籍を有すること（確認のために、パスポートの提示を求める場合がある。）。その国の国籍を有しない者については、事前にその国の会長が理由書を FIK へ提出して審査を受け、最終エントリー前に FIK 会長の承認が得られた場合のみ認められる。
- c. 2005 年 5 月 27 日以前に生まれたものであること。

## 7. エントリー、出場選手登録

### (1) 予備エントリー

予備エントリーは、FIK および主管国が各国の参加予定を把握し、大会規模や費用を見積もるために行なうものである。各国は以下について所定の予備エントリー方法で、指定の締切日までに FIK 事務局へエントリーしなければならない。

- a. 18WKC への参加意志
- b. 選手団役員（団長、監督、コーチ、5 名まで）、選手団選手（男女各 10 名まで）予定数
- c. 各競技（男女 個人・団体）への参加意志
- d. 各競技（男女 個人・団体）へ登録する予定の選手数（個人選手権は男女とも最大 4 名まで、団体選手権は男女とも最大 7 名まで。）

**予備エントリー締切日： 2020 年 9 月 27 日**

### (2) 最終エントリー（選手団氏名登録と参加競技登録）

各国は、選手団役員（団長、監督、コーチ、合計 5 名まで）および選手（男女各 10 名まで）の氏名を明らかにして、最終的に自国選手団としてエントリーする。エントリー者は前述の参加資格を満たさなければならない。各国は以下の項目について所定の最終エントリーの方法で、指定締切日までに FIK 事務局へ全員の写真とともにエントリーしなければならない。

- a. 役員全員の肩書、氏名
- b. 選手全員の氏名、性別、年齢、段/級位、国籍
- c. 各競技（男女 個人戦・団体戦）への参加意志
- d. 男女個人選手権へ登録する予定選手数（男女とも最大 4 名まで）

最終エントリーされた選手のみが試合に参加することができる。一旦最終エントリーが FIK 事務局に受理された後は、選手団役員・選手とも変更は認められない。男女とも、団体選手権に出場するためには、最終エントリーする選手が 5 名以上いなければならない。

**最終エントリー締切日： 2021 年 2 月 25 日**

### (3) 出場選手登録

各国は最終エントリーした選手のうち、各競技にそれぞれ出場する選手の氏名を登録しなけ

ればならない。個人選手権出場選手登録および団体選手権出場選手登録について、それぞれ所定の方法で、下記のそれぞれの締切日までに FIK 事務局へ出場選手氏名を登録しなければならない。

- a. 選手は、個人選手権・団体選手権の両方に出場することができる。
- b. 個人選手権出場選手登録は、男女とも各4名以下。
- c. 団体選手権出場選手登録は、男女ともそれぞれ5名以上7名以下とする。
- d. 団体選手権について、前項の人数が揃わない場合、出場選手登録はできない。
- e. 審判は選手として試合に出場することはできない。

**個人選手権出場選手登録 締切日： 2021年2月25日 (最終エントリーと同時に)**

**団体選手権出場選手登録 締切日： 2021年4月25日**

## 8. 組み合わせ抽選

最終エントリー確定後、FIK 役員、主管国剣連会長ほか必要に応じてオブザーバー立合いのもとで、すみやかに全競技カテゴリーの抽選会を行ない、各国へその結果を通知する。

なお、組み合わせ確定後に欠場が決まった場合や試合当日欠場があっても、再抽選や組み合わせ変更は行わない。

## 9. 個人戦 試合の方法

### (1) 試合時間

試合時間について、予選リーグは男女とも4分、決勝トーナメントは男女とも5分による3本勝負とする。

予選リーグにおいて、時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

決勝トーナメントにおいて、時間内に勝負が決しない場合は延長戦を行なう。延長戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らず行なう。

### (2) 予選リーグ

予選リーグでは、原則3名で構成されるグループを設け、グループ内で総当たり戦を行なう。各グループの1位が決勝トーナメントに進出する。

予選リーグ各グループへの選手の振り分けは抽選による。但し同じ団体の選手は異なるグループに振り分ける。グループ構成の際、端数のある場合は、4名をもって1つのグループとする場合がある。

### (3) 予選グループ内の順位決定方法

- a. 試合の結果に応じて以下の勝ち点を与える。

勝ち 3点

引き分け 1点

負け 0点

- b. 勝ち点の最も多い者が、決勝トーナメントに進出する。
- c. 勝ち点と同じ場合は、取得本数の多い者を上位とする。
- d. 勝ち点も取得本数も同じで、1位を決定できない場合は、該当者間の試合によって順位を決定する。試合方法は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らずに行なう。
- e. 3名がグループ1位同順の場合、抽選により試合順を決め勝ち抜き戦を行う。初めに2連勝した選手が決勝トーナメントに進出する。4名同順の場合、抽選により組み合わせを決めたトーナメント方式により勝ち残った選手が決勝トーナメントに進出する。
- f. 決勝トーナメント出場選手が決勝トーナメント開始前に怪我などにより試合不能となった場合は不戦敗とする。

### (4) 表彰

1位、2位、3位(2名)および敢闘選手8名を表彰する。敢闘選手はFIK会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

## 10. 団体戦 試合の方法

### (1) 試合時間

試合時間について、予選リーグは男女とも4分、決勝トーナメントは男女とも5分による3本勝負とする。

予選リーグでのグループ内順位決定戦、決勝トーナメントでの勝敗の決しない場合の代表選は1本勝負とし時間を区切らずに行なう。

### (2) 団体戦チーム選手数

試合は男女とも5人制により勝敗を決する。試合当日、登録選手の棄権により出場選手が3名に満たなくなった場合、そのチームは団体選手権試合に出場することはできない。棄権者が1名であれば次鋒の位置、2名であれば次鋒および副将の位置を棄権とする。

・選手が健康上およびその他の事由により試合を棄権する場合

その試合は棄権側を負けとし、相手選手に2本を与える。但し、双方の選手とも棄権した試合は、どちらにも勝敗・本数を与えない。

### (3) 団体戦チームオーダー表

団体戦チームの出場選手は団体選手権出場選手として登録された選手の中から選ばれ、その編成は毎試合変更できる。

各試合の出場選手オーダー表の提出期限については監督会議での指示に従う事。

・オーダー表と異なる順番で試合に臨んだ場合

個々の試合において主審の「始め」の宣告前に判明した場合は、罰則なくオーダー表の順番に修正することができる。オーダー表と異なった個々の試合で主審の「始め」の宣告後に判明した場合は、審判はその時点で試合を中止する。オーダー表と異なる順番で試合した1選手、およびそれにより順番が異なってしまうもう一人の選手については、その場で負けとし、両方の相手選手に2本を与える。また、そのチームの選手全ての対戦が終了し勝敗が決定した後、その試合のチーム同士の対戦終了の礼までに判明した場合は、オーダー表と異なる順番で試合をした選手全ては負けとし、相手選手それぞれに2本を与える。チーム対戦終了の礼の後に判明した場合、その対戦は成立したものとする。

### (4) 予選リーグ

予選リーグでは原則3チームで構成されるグループを設けグループ内で総当たり戦を行う。

予選リーグ各グループへのチームの振り分けは抽選による。参加チーム数によってグループ構成において端数のある場合は、4チームあるいは2チームをもって1つのグループとする場合がある。

各予選グループへのチーム振り分けとグループ内での配置は、抽選による。但し、前回大会の1位から3位までの4チームをシードとし、準決勝までシードチーム間の対戦のない予選グループに振り分ける。

### (5) 団体戦予選リーグ 試合の方法

団体戦各試合において時間内に勝敗が決しない場合は引き分けとする。

団体戦予選リーグにおける各チーム間対戦の勝敗は、以下のようにして決定される。

- 勝者数の多いチームを勝ちとする。
- 勝者数が同じ場合は、取得本数の多い方を勝ちとする。
- 勝者数も取得本数も同じ場合は引き分けとし、代表者戦は行なわない。

### (6) 予選リーグの順位決定方法

- 試合の結果に応じて以下の勝ち点を与える。

勝ち 3点

引き分け 1点

負け 0点

- 勝ち点の多いチームを上位とする。

- c. 勝ち点と同じ場合は、勝者数の多いチームを上位とする。
- d. 勝ち点、勝者数が同じ場合は、取得本数の多いチームを上位とする。
- e. 勝ち点、勝者数、取得本数も同じ場合で、決勝トーナメント進出チームを決定できない場合、該当者間の試合によって順位を決定する。
  - 1) 順位決定戦は各チーム代表者により行う。
  - 2) 表者名は各チーム監督が試合場の審判主任に伝える。
  - 3) 2チーム間で順位決定を行う場合、代表者による1本勝負を時間を区切らずに行なう。
  - 4) 3チームがグループ同順の場合、抽選により代表者の試合順を決め勝ち抜き戦を行う、初めに2連勝したチームを上位とする。4チームが同順位の場合、抽選により組み合わせを決めたトーナメント方式により順位を決定する。

(7) 決勝トーナメント進出チームの決定

- a. 男女とも予選リーグの各グループ1位が決勝トーナメントに進出する。
- b. 参加チーム数の過小によりグループ内順位が2位のチームも決勝トーナメントに進出できる場合がある。
- c. その場合はシードチームと同じグループ内の2位チームを対象とし、グループ2位が決勝トーナメント進出可能とするグループが複数である場合は、グループ内のシードチームの前回大会順位の順で該当数チームまで割り振る(第1シードと同じグループの2位、第2シードと同じグループの2位の順)。

(8) 決勝トーナメント 試合の方法

決勝トーナメントにおける各チーム間対戦の勝敗は、以下のようにして決定される。

- a. 勝者数の多いチームを勝ちとする。
- b. 勝者数が同じ場合は、取得本数の多い方を勝ちとする。
- c. 勝者数も取得本数も同じ場合、代表者戦を行う。
- d. 各チーム監督は代表者名を試合場の審判主任に伝える。
- e. 代表者戦は1本勝負とし、勝敗の決するまで時間を区切らずに行なう。

(9) 表彰

男女それぞれにおいて、1位、2位、3位(2チーム)および敢闘選手8名を表彰する。敢闘選手はFIK会長の指名による若干名の選考委員により決定される。

11. 大会役員および審判員の選任

- (1) 大会役員の任命は、前回大会に準じて、FIK本部が行なう。
- (2) 審判団は、審判長1名、審判主任4名、予選リーグ専任審判主任2名、審判員42名、計49名以上で構成する。
- (3) 審判員の選任
  - a. 審判員の推薦
 

FIK加盟団体会長は、次に定められた条件を満たす者(各国6名以下)を、所定の方法でFIK会長に推薦する。

    - 1) FIK加盟団体の会員であり、原則として当該国の国籍を有する者。
    - 2) 年齢35歳以上、70歳以下(2021年1月1日時点)の者。
    - 3) 剣道六段以上を有し、健康体であり、常時稽古に参加している者。
    - 4) FIK剣道試合・審判規則を熟知し、国際大会や国内選手権大会および同程度の大会の審判経験が豊富で、審判能力の高い者。
    - 5) 原則として、前回大会以降FIKゾーン別審判講習会に参加しており、かつ大会の数ヶ月前に日本で行われる審判講習会およびWKC期間中に行われる審判講習会に必ず出席できる者。

- b. 審判員選考委員会  
各国からの推薦者に FIK 会長推薦の者を若干名加えた候補者の中から、FIK 会長が委嘱した選考委員会が WKC 審判員を選考する。
- c. 審判員の委嘱  
FIK 会長から選考された者の通知を得た加盟団体会長は、委嘱を受けた本人の諾否の確認結果を直ちに FIK 事務局に報告するものとする。
- d. 審判長、審判主任および日本人審判員  
FIK 会長が指名する。

### 1.2. 費用の負担区分

- (1) 全ての参加者は、それぞれの国と開催地の往復旅費、滞在中の宿泊費および食費を自己負担とする。特に大会期間中の宿泊費、食費の負担額、予約および支払方法等詳細については、主管団体から事前に参加各国へ指示されるので、その指示に従うこと。
- (2) 審判員については、審判講習会前日のから 2 泊分の宿泊費を FIK が負担するものとし、相当額を各審判員が所属する FIK 加盟団体へ支給する。大会期間中の上記期間以外のホテル代は、各審判員及びその所属団体が負担するものとする。
- (3) 大会および関連行事にかかわる費用については、FIK および主管団体が協議の上、それぞれの負担分を決定する。

### 1.3. 竹刀の基準について

竹刀については次の事項を遵守すること。また、大会当日に、計量・検査を必ず受けること。

- (1) 竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より 8 cm のちくとう部対角直径値）は、図表 1（竹刀の基準）及び図表 2（竹刀の計測方法）の通りとする。また、竹刀は先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなるものとする。
- (2) ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。

図表 1：竹刀の基準

竹刀の基準（一刀の場合）

対 象		中学生	高校生 (相当年齢の者も含む)	大学生・一般	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	117センチメートル以下	120センチメートル以下	
重さ	男 性	440グラム以上	480グラム以上	510グラム以上	
	女 性	400グラム以上	420グラム以上	440グラム以上	
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	26ミリメートル以上	26ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	21ミリメートル以上	21ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	25ミリメートル以上	25ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	20ミリメートル以上	20ミリメートル以上

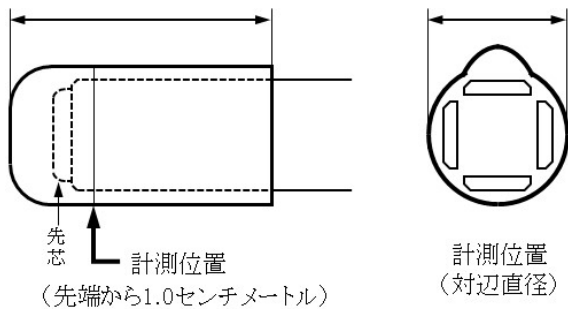
竹刀の基準（二刀の場合）

	対 象	大学生・一般		
		大 刀	小 刀	
長さ	男女共通	114センチメートル以下	62センチメートル以下	
重さ	男 性	440グラム以上	280～300グラム	
	女 性	400グラム以上	250～280グラム	
太さ	男性	先端部 最小直径	25ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	20ミリメートル以上	19ミリメートル以上
	女性	先端部 最小直径	24ミリメートル以上	24ミリメートル以上
		ちくとう 最小直径	19ミリメートル以上	19ミリメートル以上

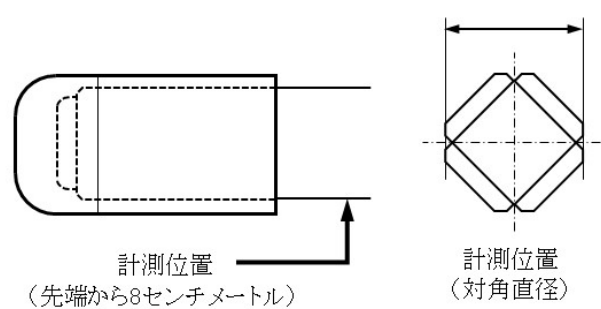
図表 2：竹刀の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最小直径値の計測方法>

先革の長さ5センチメートル以上



<ちくとうの最小直径値の計測方法>



14. その他

- (1) 各国選手団、審判、FIK 役員は、開催地に到着後、必ず大会事務局へその到着を連絡し、主管団体から必要書類や資料等を受け取らなければならない。
- (2) 試合の直前に行なわれる選手の呼び出しがあつてから5分以内に現れない選手は失格とし、その試合に出場できず、不戦負けとなる。
- (3) 担当審判員の合議により、薬物（アルコール類を含む）の影響下にあることが明瞭と認められた選手は失格とされ、その試合に出場できず、不戦負けとなる。なお、大会期間中または大会期間前後にドーピング検査が実施される場合は、FIK および世界アンチ・ドーピング機構（WADA）の規程に従って実施される。なお、ドーピング検査により失格者が出た場合は、前回大会同様の順位確定方法で、最終順位を確定する。
- (4) 各国選手団、審判、FIK 役員は、自国において旅行期間中の疾病傷害保険に必ず加入してくることとする。
- (5) 合同稽古の参加者は大会参加者のうち稽古希望者とする。

本要項の和文と英文に齟齬があつた場合は、和文を優先とする。

以上